

### 「ナラ枯れ」被害の発生について

岩手県南地域におけるナラ枯れ被害については、平成22年に奥州市胆沢区の横岳前山国有林で初めて被害が確認されてから、平成23年には一関市巖美町上菅生沢地内の民有林に、平成24年にも胆沢区の国有林内で被害が確認され、平成22年に確認されてから毎年被害が発生している状況にあります。

このことから、県南広域振興局と岩手南部森林管理署は、本年7月31日にナラ枯れ被害の防止対策を推進することを目的として、「ナラ枯れ被害対策の連携強化に関する協定」を締結し、ナラ枯れ被害通報協力員を登録するなど、監視の強化に努めているところであります。

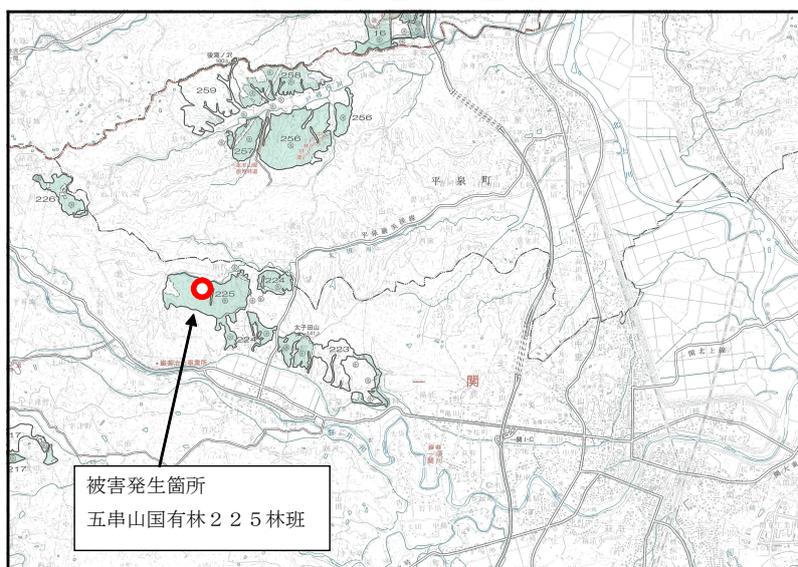
このような状況の中、8月下旬、岩手南部森林管理署一関首席森林官が国有林内を巡視中、一関市巖美町の五串山国有林225林班に6本のナラ枯れと疑われる枯れ木を発見し、直ちに岩手県と合同で現地調査を行い、県林業技術センターにおいて検体を採取し鑑定を行ったところ、カシノナガキクイムシによるナラ枯れと判定されたものであります。

発見された被害木は早急に駆除を実施することとし、今後とも監視の強化に努め、被害木の早期発見と蔓延防止に努めて参ります。

ナラ枯れ被害通報協力員をはじめ、市民の方々には、紅葉以外で葉が変色した広葉樹を発見した場合は通報をよろしくお願いします。

#### 【被害発生箇所位置図】

1. 発見日時  
平成25年8月26日
2. 現地調査  
平成25年9月2日
3. 場 所  
一関市巖美町  
五串山国有林  
225林班内
4. 数 量  
6本、2.59m<sup>3</sup>



—お問い合わせ先—  
 岩手南部森林管理署 総括森林整備官 柳館 TEL 0197-24-2131  
 県南広域振興局 林務部 林業振興課 上席林業普及指導員 佐藤 TEL 0197-22-2871